

編集後記

新年早々大きな自然災害が発生しました。阪神大震災は死者・行方不明者 5 千人以上という、関東大震災以来の大惨事となりましたが、私たちに直下型地震の恐怖をあらためて教えているような気がします。被害にあわれた方々へ心からお見舞いを申し上げますとともに、1 日も早く復興できることをお祈りしております。

さて、この災害の中でも、数多くのボランティアや非営利団体が現地で活躍しています。自治体や国の対応より、きめ細かく、そして即応な活動が報道されています。市民の義援金、救援物資、献血などの活動も活発です。また、企業の採算を度外視した経済活動も見逃せません。避難地での自然発生的な自治活動も存在しています。印象的だったのは、行政だけでなく数多くの公共活動を多くの人々が担っていることでしょう。今号では、このように近年役割を高めつつある非営利部門の活動に注目しています。経済学からのアプローチのみで特集を組んでいますが、他の分野の方にもお役に立てると確信しております。

最後に、1 月 10 日小山路男先生（社会保障研究所顧問、前所長）が心不全のために亡くなられたことをお伝えしなければなりません。享年 74 歳。ご冥福をお祈りいたします。

（駒村・高野・武智）

編集委員長 宮澤健一（社会保障研究所長）

編集委員 井堀利宏（東京大学助教授）

貝塚啓明（中央大学教授）

郡司篤晃（東京大学教授）

佐野陽子（慶応義塾大学教授）

塩野谷祐一（一橋大学教授）

地主重美（駿河台大学教授）

庄司洋子（立教大学教授）

清家篤（慶応義塾大学教授）

武川正吾（東京大学助教授）

都村敦子（日本社会事業大学教授）

直井道子（東京学芸大学助教授）

庭田範秋（慶応義塾大学名誉教授）

橋本宏子（神奈川大学教授）

三浦文夫（日本社会事業大学学長）

伏見恵文（社会保障研究所研究部長）

高木安雄（社会保障研究所調査部長）

編集幹事 栃本一三郎（社会保障研究所主任研究員）

駒村康平（社会保障研究所研究員）

高野和良（社会保障研究所研究員）

武智秀之（社会保障研究所研究員）

季刊

社会保障研究 Vol. 30, No. 4, Spring 1995（通巻 127 号）

平成 7 年 3 月 27 日 発行

定価 2,060 円（本体 2,000 円）

編集・発行所

社 会 保 障 研 究 所

〒107 東京都港区赤坂 2 丁目 19 番 8 号

赤坂 2 丁目 アネックスビル内

電話 (3589) 1381

製作・発売

財団法人 東 京 大 学 出 版 会

〒113 東京都文京区本郷 7 丁目 3 番 1 号

電話 (3811) 8814 振替 00160-6-59964

印刷・製本 三美印刷株式会社